

2012年度（平成24年度）4月期入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科

（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜

社 会 人 特 別 選 抜

外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

平成23年10月

金沢大学大学院人間社会環境研究科

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学角間北地区事務部学生課大学院第一係

電話 (076)264-5881・5886 FAX (076)264-5468

学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間社会環境研究科博士後期課程の人材養成目的は、人間社会環境という多分野横断的な研究領域で活躍できる創造性豊かな大学教員，研究者，および高度専門職業人の育成です。したがって，研究科が求める学生は，それぞれの伝統的な学問分野における高い専門能力を持つだけでなく，それを基礎に，学際性・総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めようとする気概のある人物です。とくに人間社会環境学専攻は，「文化環境」，「社会環境」，および「人間それ自体」を研究対象とする多様な領域を教育研究するところですから，ここで学ぶ学生には，なによりも他者に対する開かれた態度，異文化を尊重する広い心，それらに対する積極的な興味，未知の現象に対する柔軟な発想，そして論理性への強い志向を備えていることが求められます。

2012年度（平成24年度）4月期入学
金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

I. 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員	
	一般選抜，社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
人間社会環境学専攻	8 名	4 名

II. 出 願 期 間

- (1) 2012年（平成24年）1月20日（金）から1月26日（木）まで（土・日曜日を除く。）
- (2) 受付時間は、午前9時から午後4時までとします。
- (3) 郵送による場合は、期間内に必着のこと。ただし、締切日を過ぎて郵送で提出された出願書類のうち、締切日前日までの発信局（国内に限る）日付印のある書留速達便に限り受理します。

III. 選 考 日 時

区 分	一 般 選 抜		社 会 人 特 別 選 抜		外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜	
	試験区分	時 間	試験区分	時 間	試験区分	時 間
2012年(平成24年) 2月15日(水)	筆記試験 (外国語)	午前10時～ 11時30分	口述試験	午前9時30分～	口述試験	午前9時30分～
2012年(平成24年) 2月16日(木)	口述試験	午前9時30分～				

一般選抜の場合

- (1) 筆記試験開始時刻の30分前までに、試験場に集合してください。
- (2) 口述試験についての詳細は、筆記試験当日、試験場に掲示しますので確認してください。

社会人特別選抜の場合

- (1) 口述試験開始時刻の20分前までに、受験者控室に集合してください。

外国人留学生特別選抜の場合

- (1) 口述試験開始時刻の20分前までに、受験者控室に集合してください。

IV. 合 格 者 発 表

2012年（平成24年）2月29日（水） 午前10時頃

本学所定の掲示板（人間社会第1講義棟1階）に発表するとともに、合格者には郵便で通知します。

V. 出 願 資 格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科が、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2012年(平成24年)3月31日までに24歳に達するもの

(2) 社会人特別選抜

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有し、次の各号のいずれかの条件を満たす者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有し、入学時において取得後3年を経過している者
- ② 修士の学位又は専門職学位を有しない者においては、入学時において大学卒業後5年を経過している者
- ③ 官公庁、企業、事務所、団体、学校等に在職中であり、かつ、在職のまま博士後期課程の修了を目指す者

(3) 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で次の各号のいずれかに該当するもの

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び2012年(平成24年)3月31日までに取得見込みの者
- ④ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2012年(平成24年)3月31日までに24歳に達するもの

出願資格審査

一般選抜出願資格⑥、⑦及び外国人留学生特別選抜⑤による出願については、前もって出願資格審査を行う必要があります。したがって「VI. 出願手続」に示す所定の提出書類（入学検定料振込金証明書を除く。）を出願締切の3週間前（必着）までに本学角間北地区事務部学生課大学院第一係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒の表に「出願資格審査関係書類在中」と朱書してください。

出願資格審査の結果、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めるときは、この提出書類は、「VI. 出願手続」に示す所定の出願書類として受理します。

おって連絡する出願資格審査結果が合格の場合、出願期間中に検定料を納入し、入学検定料振込金証明書を本学角間北地区事務部学生課大学院第一係へ提出してください。

VI. 出 願 手 続

- (1) 志願者は、次の書類を本学角間北地区事務部学生課大学院第一係に提出してください。
- (2) 出願書類を郵送するときは、「書留便」又は「簡易書留便」とし、封筒の表に「博士後期課程入学願書」と朱書してください。

送付先 〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学角間北地区事務部学生課大学院第一係

一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

提出書類等	摘 要
入 学 願 書	本研究科所定の様式によること。
写 真	2枚（出願前3か月以内に、上半身、脱帽、正面向き無背景で撮影したものを入学願書及び受験票の所定の欄に貼付してください。）
入学検定料 振込金証明書 ※ 学内進学者 及び国費外国 人留学生は入 学検定料の納 入は不要です。	検定料30,000円を銀行振込「電信扱」で納入してください。 本学所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局は不可）の窓口で納入してください。納入後、銀行領収印が押されていることを確認し、「振込金証明書」を願書の所定の欄に貼付してください。 振込手数料は本人負担となりますが、本学指定銀行の本・支店から振り込む場合は無料となります。 一旦納入された検定料は返還しませんので注意してください。
成 績 証 明 書	(ア) 出願資格(1)の①, ②, ③, ④, ⑤又は(2)の①及び(3)の①, ②, ③, ④により出願する者は、出身大学院の研究科長（又は学長等）が作成したもの。 (イ) 出願資格(1)の⑥又は(2)の②により出願する者は、出身大学の学部長（又は学長）が作成したもの。 (ウ) 出願資格(1)の⑦又は(2)の③及び(3)の⑤により出願する者は、最終学歴の学校長等が作成したもの。（修得科目及び単位数が記載されているもの）

修了(見込)証明書	出身大学の大学院修士課程又は博士前期課程修了(見込み)証明書。(2)の②に該当する者は、出身大学卒業証明書。(2)の③は最終学歴の証明書。但し、出願資格(1)の⑥, ⑦, 又は(3)の⑤に該当する者及び本学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修了(見込み)の者は不要です。
提出論文等	(ア) 次のいずれかの出願資格により出願する者は、修士論文(又はそれに代わるもの)の原本若しくはその写しを3部提出してください。 出願資格:(1)の①②③④⑤又は(2)の①及び(3)の①②③④ (イ) 次のいずれかの出願資格により出願する者は、研究論文, 調査報告書等又はその写しを3部ずつ提出してください。(共同執筆の場合は、志願者の執筆担当箇所を明示してください。) 出願資格:(1)の⑥⑦又は(2)の②③及び(3)の⑤ (ア)及び(イ)ともに、日本語(1,000字程度)又は英語(300ワード程度)による論文の概要を3部添付してください。 なお、すでに公表した研究論文等があれば、研究業績リスト(本学研究所定の様式による。)にすべてを記載し、かつ、その中で特に主要なものの別刷又はその写しを3部ずつ添付してください。 また、未公表の研究論文等を審査のための参考資料として提出することも可とします。その場合は、提出する参考資料のリスト(様式自由)を作成し、参考資料又はその写しを3部ずつ提出してください。
研究計画書	本研究科所定の様式によること。(外国人留学生特別選抜の者は、これまでの研究経過及び本研究科における研究計画等について日本語で具体的に記入してください。)
あて名票	本研究科所定の様式によること。
受験票等送付用封筒	添付の封筒に受信場所・氏名を明記し、郵便切手350円(速達)を貼付してください。

《備考》日本に在留する外国人志願者は、市区町村長の発行する登録原票記載事項証明書(在留資格が明示されたもの)を提出してください。

なお、出願書類には、この証明書の氏名を用いてください。

Ⅶ. 選 抜 方 法

一般選抜

選抜は、学力検査(筆記試験, 口述試験), 研究計画書, 提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行います。

学力検査

ア. 筆記試験 あらかじめ届け出た外国語(英語, ドイツ語, フランス語及び中国語の4か国語から1か国語選択)について行います。ただし、外国人の志願者については、英語, ドイツ語, フランス語, 中国語(以上のうちで母語は対象としません。)及び日本語から選択した1か国語について行います。いずれも辞書(電子辞書を除く)持込可とします。

イ. 口述試験 修士論文等(又は概要, 研究論文, 調査報告書等)及び研究計画書を中心に行

います。研究テーマによっては、研究上必要な外国語の能力を問うことがあります。

社会人特別選抜

選抜は、学力検査（口述試験）、研究計画書、提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行い、細目については、一般選抜の選抜方法に準じます。

外国人留学生特別選抜

選抜は、学力検査(口述試験)、研究計画書、提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行います。

学力検査（口述試験） 修士論文等（又は概要、研究論文、調査報告書等）及び研究計画書を中心に行います。日本語の能力も問います。研究テーマによっては、研究上必要な外国語の能力を問うことがあります。

Ⅷ. 試 験 場

金沢市角間町 金沢大学人間社会第1講義棟（変更となる場合があります。）

Ⅸ. 入 学 手 続 等

(1) 入学手続

合格者発表後に送付する「平成24年度大学院入学・進学手続要項」により、所定の期日までに入学手続を行ってください。

(2) 授業料等納付金

ア. 入学科 282,000円（予定）（学内進学者及び国費外国人留学生は納入は不要です）

イ. 授業料 前期分 267,900円（予定）（国費外国人留学生は納入は不要です）

《注》 入学時又は在学中に入学科・授業料が改定された場合には、改定時から新入学科・新授業料が適用されます。

ウ. 金沢大学学生健康保険組合費 9,000円（3年分）

エ. 学生教育研究災害傷害保険料 2,600円（3年分）

Ⅹ. 注 意 事 項

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の書類の変更、検定料の払戻し、提出書類の返却はしません。
- (3) 出願書類等に虚偽の記載又は不正な申告があったときは、入学許可を取り消すことがあります。その場合、振り込まれた入学科料については返納しません。
- (4) 心身に障害のある志願者で、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち申請書（様式は自由）を、金沢大学角間北地区事務部学生課大学院第一係に提出し相談してください。
- (5) 募集要項及び出願書類の郵送を希望するときは、郵便切手200円を貼付し、住所、氏名を明記した返信用封筒（角形2号240×332mm）を同封の上、裏表紙の照会先まで請求してください。
- (6) 社会人特別選抜入学者に対して、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。

参考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）[抄]

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

- なお、同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。
- (7) 過去の試験問題は、角間北地区事務部学生課大学院第一係で閲覧可能です。
- なお、複写を希望する者は、身分を証明するものを持参し、自費で行ってください。

XI. 個人情報の取り扱い

出願書類等により志願者から提出された氏名、住所、生年月日その他個人情報については、本大学院入学者選抜に係る用途及びこれらに付随する事項を行うためのみ使用します。また、取得した個人情報は「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等に則り、適切に管理し、利用目的以外に使用しません。

XII. 参 考 資 料

入学年度	人間社会環境学専攻		
	入学志願者数	合格者数	入学者数
18年度（4月期）	14	12	11
18年度（10月期）	2	1	1
19年度（4月期）	17	15	14
19年度（10月期）	0	0	0
20年度（4月期）	19	13	13
20年度（10月期）	5	3	3
21年度（4月期）	19	13	13
21年度（10月期）	7	3	3
22年度（4月期）	22	14	14
22年度（10月期）	6	4	4
23年度（4月期）	16	14	14
23年度（10月期）	1	0	0

長期履修

■ 仕事や育児などを続けながら履修できます。

人間社会環境研究科では、仕事あるいは家事、育児、介護等に従事している人たちのために、長期履修制度を設けています。この制度を利用すれば、学則に規定される在学年限の範囲内（原則として博士後期課程6年）で、長期履修期間を設定することができます。これによって、社会人の方のさまざまな学習需要に対応し、多様で柔軟な学習機会を提供します。

なお、授業料は修業年限分（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）を履修期間に分けて納めます。

授業科目及び担当教員

(1) 共通科目

授 業 科 目	担当教員
心理臨床論	萱原 道春
言語構造類型論	柘植 洋一*
認知行動論	松川 順子
認知言語論	中村 芳久
文化変化論	鏡味 治也
空間現象論	森 雅秀
ヨーロッパ言語文化論	阪上るり子
ヨーロッパ社会思想史	野村 真理
教育倫理原論	松下 良平
東西文化交流史論	高濱 秀*
ヨーロッパ社会構造論	梶川 伸一*
アジア社会構造論	持井 康孝*
国際人権保障論	稲角 光恵
労働法政策論	名古 道功
福祉政策論	井上 英夫*
国際政治論	鹿島 正裕*
社会経済発展論	
金融システム論	加藤 峰弘
世界システム論	中島 健二
情報化社会論	平田 透
地域社会構造論	中島 弘二
地域環境管理論	碓山 洋
自治体財政論	武田 公子
共生社会論	高橋 涼子
社会階層論	岩本 健良
居住環境計画論	山岸 雅子
共生社会環境論	南 相環
現代環境思想論	生田 省悟*
エコロジー経済論	市原あかね
プロジェクト研究	
英語論文指導	

(2) 人間社会環境学専攻

コース	教育研究分野	授 業 科 目	担当教員
人間文化環境論	人間基礎科学	認知コミュニケーション論	竹内 義晴
		認知コミュニケーション論演習	竹内 義晴
		学習行動論	谷内 通
		学習行動論演習	谷内 通
		コミュニケーション支援論	武居 渡
		コミュニケーション支援論演習	武居 渡
		人格・発達心理学	岡田 努
		人格・発達心理学演習	岡田 努
		発達障害評価・支援論	吉川 一義
		発達障害評価・支援論演習	吉川 一義
		心理臨床論演習	萱原 道春
		言語構造類型論演習	柘植 洋一*
		現代分析哲学	柴田 正良
		現代分析哲学演習	柴田 正良
		行動発生論	小島 治幸
		行動発生論演習	小島 治幸
		現象学	
		現象学演習	
		認知行動論演習	松川 順子
		認知言語論演習	中村 芳久
		言語科学論	堀田 優子
		言語科学論演習	堀田 優子
		中国語比較研究	大瀧 幸子
		中国語比較研究演習	大瀧 幸子
		日本語社会動態論	加藤 和夫
		日本語社会動態論演習	加藤 和夫
		日本語構造論	高山 知明
	日本語構造論演習	高山 知明	
	日本語教育方法論	深澤のぞみ	
	日本語教育方法論演習	深澤のぞみ	
	言語構造論	新田 哲夫	
	言語構造論演習	新田 哲夫	
	教育倫理原論演習	松下 良平	
	比較文化システム	文化変化論演習	鏡味 治也
		日本伝統文化論	西村 聡
		日本伝統文化論演習	西村 聡
		アジア文化構造論	上田 望
アジア文化構造論演習		上田 望	
空間現象論演習		森 雅秀	
アジア宗教建築史		矢口 直道	
アジア宗教建築史演習		矢口 直道	

コース	教育研究分野	授 業 科 目	担当教員
人間文化環境論	比較文化システム	ドイツ言語文化論	志村 恵
		ドイツ言語文化論演習	志村 恵
		フランス語圏文化	粕谷 雄一
		フランス語圏文化演習	粕谷 雄一
		ヨーロッパ言語文化論演習	阪上るり子
		英米の文化と社会	高田 茂樹
		英米の文化と社会演習	高田 茂樹
		英語圏文学・文化論	和泉 邦子
		英語圏文学・文化論演習	和泉 邦子
		比較身体文化史	大久保英哲
		比較身体文化史演習	大久保英哲
		日本近世文学	
		日本近世文学演習	
		近代日本言語文化論	杉山 欣也
		近代日本言語文化論演習	杉山 欣也
		北東アジア比較文化論	鶴園 裕
		北東アジア比較文化論演習	鶴園 裕
		異文化間コミュニケーション	西嶋 義憲
		異文化間コミュニケーション演習	西嶋 義憲
		比較思想文化論	三浦 要
		比較思想文化論演習	三浦 要
		中国地域文化論	岩田 礼
		中国地域文化論演習	岩田 礼
比較先史文化論	中村 慎一		
比較先史文化論演習	中村 慎一		
比較社会制御論	比較社会システム	ヨーロッパ社会思想史演習	野村 眞理
		環日本海比較歴史交流論	古畑 徹
		環日本海比較歴史交流論演習	古畑 徹
		比較法制論	櫻井 利夫
		比較法制論演習	櫻井 利夫
		東アジア法制史論	中村 正人
		東アジア法制史論演習	中村 正人
		比較文化表象史論	東田 雅博*
		比較文化表象史論演習	東田 雅博*
		東西文化交流史論演習	高濱 秀*
		西アジア先史文化論	藤井 純夫
		西アジア先史文化論演習	藤井 純夫
		日本法文化史論	梅田 康夫*
		日本法文化史論演習	梅田 康夫*
		ヨーロッパ社会構造論演習	梶川 伸一*
		日本古代政治史	笠井 純一*
		日本古代政治史演習	笠井 純一*

コース	教育研究分野	授 業 科 目	担当教員
比較社会制御論	比較社会システム	アジア社会構造論演習 日本近世社会史 日本近世社会史演習 地域社会変化論 地域社会変化論演習 比較社会意識論 比較社会意識論演習 歴史認識・社会認識教育論 歴史認識・社会認識教育論演習	持井 康孝* 中野 節子* 中野 節子* 西本 陽一 西本 陽一 轟 亮 轟 亮 村井 淳志 村井 淳志
	法と社会	国・自治体構造論 国・自治体構造論演習 国際人権保障論演習 刑事統制論 刑事統制論演習 刑事法理論 刑事法理論演習 刑事裁判制度論 刑事裁判制度論演習 財産取引法 財産取引法演習 現代契約法 現代契約法演習 企業組織法 企業組織法演習 民事手続法 民事手続法演習 知的財産法論 知的財産法論演習 国際企業法務管理論 国際企業法務管理論演習 法理学 法理学演習 英米法論 英米法論演習 医療と法思想 医療と法思想演習 政策決定過程分析論 政策決定過程分析論演習 地方政策分析論 地方政策分析論演習 租税政策論 租税政策論演習	山崎 友也 山崎 友也 稲角 光恵 永井 善之 永井 善之 振津 隆行* 振津 隆行* 中山 博善* 中山 博善* 熊谷 士郎 熊谷 士郎 村上 裕 村上 裕 福本 知行 福本 知行 大友 信秀 大友 信秀 足立 英彦 足立 英彦 東川 浩二 東川 浩二 青野 透 青野 透 岡田 浩 岡田 浩 小塚 真啓 小塚 真啓

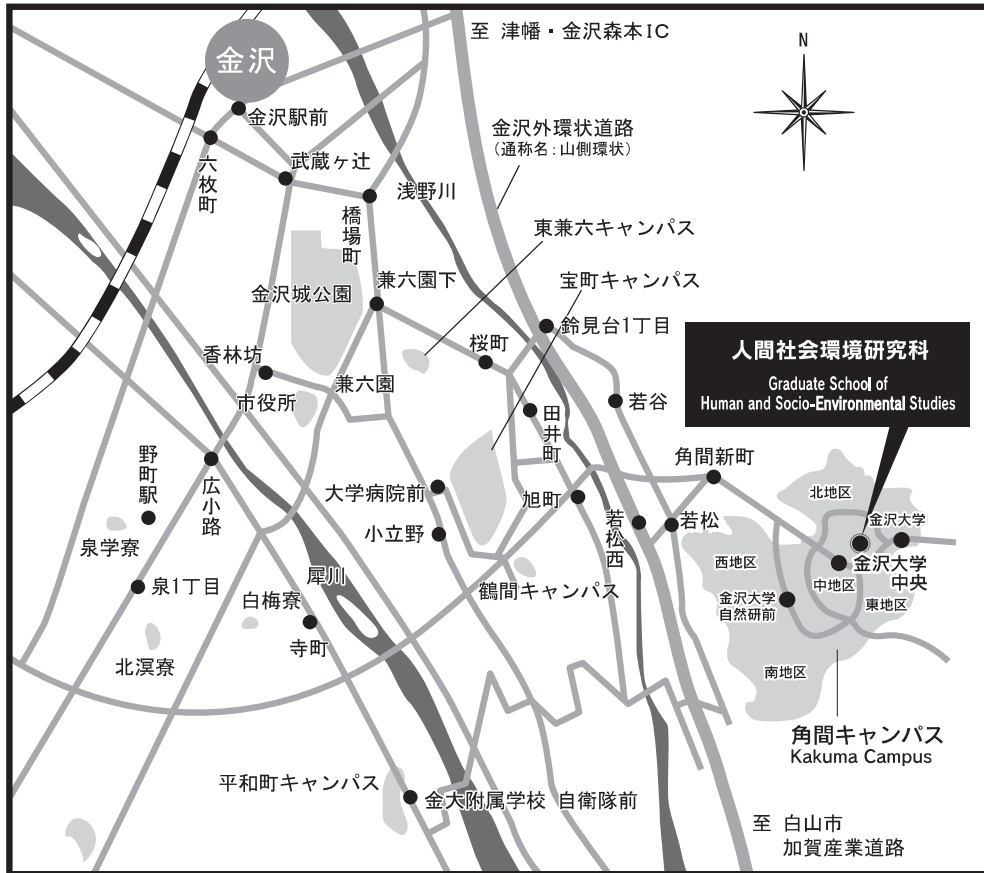
コース	教育研究分野	授 業 科 目	担当教員
比較社会制御論	法と社会	労働法政策論演習	名古屋 道功
		福祉政策論演習	井上 英夫*
		比較労使関係論	前田 達男*
		比較労使関係論演習	前田 達男*
		比較社会保障制度論	石田 道彦
		比較社会保障制度論演習	石田 道彦
		社会理論史	溝部 明男
		社会理論史演習	溝部 明男
		現代社会学理論	田邊 浩
		現代社会学理論演習	田邊 浩
		社会ネットワーク論	眞鍋 知子
		社会ネットワーク論演習	眞鍋 知子
比較政治経済論	国際政治経済	国際政治経済原理	村上 和光*
		国際政治経済原理演習	村上 和光*
		比較社会体制論	堀林 巧
		比較社会体制論演習	堀林 巧
		国際政治論演習	鹿島 正裕*
		比較政治過程論	A. ビートン
		比較政治過程論演習	A. ビートン
		統計的モデル論	星野 伸明
		統計的モデル論演習	星野 伸明
		動学的経済理論	池下研一郎
		動学的経済理論演習	池下研一郎
		近代中国経済構造史論	弁納 才一
		近代中国経済構造史論演習	弁納 才一
		雇用政策論	伍賀 一道*
		雇用政策論演習	伍賀 一道*
		社会経済発展論演習	
		国際安全保障論	齋藤 嘉臣
		国際安全保障論演習	齋藤 嘉臣
		東アジア地域研究	倉田 徹
		東アジア地域研究演習	倉田 徹
		金融システム論演習	加藤 峰弘
		世界システム論演習	中島 健二
		経済発展論	正木 響
		経済発展論演習	正木 響
		数理的市場機構論	前田 隆
		数理的市場機構論演習	前田 隆
		現代ヨーロッパ経済思想論	上條 勇
		現代ヨーロッパ経済思想論演習	上條 勇
	企業経営	組織情報戦略論	白石 弘幸
		組織情報戦略論演習	白石 弘幸

コース	教育研究分野	授 業 科 目	担当教員
比較政治経済論	企業経営	経営政策論	澤田 幹
		経営政策論演習	澤田 幹
		会計記号システム論	竹島 貞治
		会計記号システム論演習	竹島 貞治
		情報化社会論演習	平田 透
		財務分析論	佐藤 清和
		財務分析論演習	佐藤 清和
		統計科学 統計科学演習	寒河江雅彦 寒河江雅彦
共生社会環境論	地域社会	地域社会構造論演習	中島 弘二
		地域環境管理論演習	碓山 洋
		自治体財政論演習	武田 公子
		地域経済システム論	佐無田 光
		地域経済システム論演習	佐無田 光
		比較政治文化論	西村 茂
		比較政治文化論演習	西村 茂
		都市空間論	神谷 浩夫
		都市空間論演習	神谷 浩夫
		共生社会論演習	高橋 涼子
	社会階層論演習	岩本 健良	
	共生社会	居住環境計画論演習	山岸 雅子
		共生社会環境論演習	南 相璽
		生活保障システム論	横山 壽一
		生活保障システム論演習	横山 壽一
		社会福祉論	森山 治
		社会福祉論演習	森山 治
		社会哲学	仲正 昌樹
		社会哲学演習	仲正 昌樹
		現代環境思想論演習	生田 省悟*
公共政策協調論 公共政策協調論演習		吉居 史子 吉居 史子	
エコロジー経済論演習	市原あかね		

【注】 1 *印の教員は、主任指導教員に指名できません。

2 授業科目や担当教員は、教員の異動等により変更することがあります。

金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

【路線バス利用】

J R 金沢駅東口バスターミナル6番乗り場から「金沢大学（角間）」行き乗車、「金沢大学（終点）」下車、徒歩3分（J R 金沢駅から約35分）
 ※「金沢大学中央」で下車した場合は、徒歩約5分

【タクシー利用】

J R 金沢駅東口から約20分

【小松空港まで航空機を利用】

「金沢駅東口（市内回り）」行き乗車、「香林坊（アトリオ前）」下車（乗換え）
 「香林坊（中央公園前）」から「金沢大学（角間）」行き乗車、「金沢大学（終点）」下車、徒歩3分
 ※「金沢大学中央」で下車した場合は、徒歩約5分

出願書類請求先・照会先

〒920-1192 金沢市^{かくままち}角間町
 金沢大学大学院人間社会環境研究科
 （角間北地区事務部学生課大学院第一係）
 「相談窓口」 TEL 076 (264) 5881・5886
 FAX 076 (264) 5468
 E-mail n-gakin1@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/>